

平成 29 年 度

(簡易水道特別会計)

主 要 な 施 策 の 成 果 の 説 明

芽 室 町

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
1 簡易水道費	1 総務管理費	1 一般管理費	140124	簡易水道(上美生・美生・河北)施設維持管理事業

事務事業名	簡易水道(上美生・美生・河北)施設維持管理事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 43 年度から 年度まで
-------	-------------------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

簡易水道施設を正常に機能させ、安全安心な水道水を安定的に供給するため維持管理事業を実施する。

2. 対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など)
簡易水道施設

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
簡易水道施設を正常に機能させる

(2) 事務事業の環境変化

1. この事務事業を開始した背景

昭和43年の上美生地区簡易水道創設を始め、3箇所の簡易水道施設が設置され、施設の維持管理事業が始まった。

2. 事務事業を取り巻く状況と今後の予測
(どう変わったか、どうなるか)

簡易水道施設設置から30年以上が経過し、各施設の機器などの経年劣化が著しいことから、機器の更新が必要になってきた。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業 ☐ 統廃合・分割などによる変更 ☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	45,393	33,760	25,000
		一 般 財 源	円	20,327,415	20,042,831	19,752,000
		事業費計 (A)	円	20,372,808	20,076,591	19,777,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.6692	0.7141	
		人件費計 (B)	円	5,513,922	5,555,387	
トータルコスト(A)+(B)		円	25,886,730	25,631,978		
活 動 指 標		修理改善された機器数	箇所	5	4	5
		修理された配水設備数	箇所	4	5	3

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
給水工事設計審査等手数料	円	45,393	33,760	23,000
給水工事設計手数料	円			1,000
簡易水道配水管破損弁償金	円			1,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明						
1 簡易水道の概要						
区分	上美生簡易水道	美生簡易水道	河北簡易水道	合計		
事業創設許可年月日	昭和43年11月21日	昭和59年4月9日	昭和60年6月24日	-		
供用開始年月日	昭和43年11月21日	昭和59年4月9日	昭和60年6月24日	-		
計画給水人口	310人	600人	1,160人	2,070人		
29年度末給水人口	302人	457人	981人	1,740人		
給水戸数	93戸	105戸	245戸	443戸		
計画給水量	108m3／日	240m3／日	1,010m3／日	-		
一日最大給水量	176m3／日	168m3／日	624m3／日	-		
年間総給水量	37,305m3／年	42,647m3／年	168,873m3／年	248,825m3／年		
年間有収水量	22,257m3／年	40,104m3／年	142,831m3／年	205,192m3／年		
有収率	59.7%	94.0%	84.6%	82.5%		
管路延長	導水管 26.00m	導水管 15.0m	導水管 58.9m	導水管 99.9m		
	配水管 4,432.7m	配水管 37,870.9m	配水管 108,070.7m	配水管 150,374.3m		
		送水管 1,430.5m	送水管 624.8m	送水管 2055.3m		
施設の設備	取水井戸 1	取水井戸 1	取水井戸 3	取水井戸 5		
	配水池 V=24m³ 1	配水池 V=170m³ 1	配水池 V=663m³ 4	配水池 V=857m³ 6		
	取水ポンプ 1	取水ポンプ 1	取水ポンプ 3	取水ポンプ 5		
	薬液注入設備 1	薬液注入設備 2	薬液注入設備 6	薬液注入設備 9		
		送水ポンプ 2	送水ポンプ 2	送水ポンプ 4		
		管理棟 1	管理棟 2	管理棟 3		
		電気計装設備 1	電気計装設備 2	電気計装設備 3		
		除鉄・除マンガン設備 2	除鉄・除マンガン設備 4	除鉄・除マンガン設備 6		
			配水ポンプ 3	配水ポンプ 3		
2 管路延長調書						
区分	上美生簡易水道	美生簡易水道	河北簡易水道		合計	
			河北浄水場系	南平和浄水場系		計
導水管	26 m	15 m	32.9 m	26 m	58.9 m	99.9 m
配水管	4,432.70 m	37,870.90 m	59,698.70 m	48,372.00 m	108,070.70 m	150,374.30 m
送水管	m	1,430.50 m	624.8 m	m	624.8 m	2,055.30 m
3 特定財源内訳					33,760円	
(1)給水工事設計審査手数料	8件				33,760円	
4 補水業務に要した費用					1,448,916円	
(1)補水業務委託料	9日分				492,911円	
(2)重機賃借料	タンクローリー賃借料 9日分				761,346円	
(3)水道料	751m3				194,659円	
5 施設機器・配水管漏水等修理に要した費用					1,271,160円	
(1)修繕費	機器4件				595,080円	
	配水・給水設備5件				676,080円	

(水道課 水道工務係)

[illegible]

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
1 簡易水道費	2 建設事業費	1 配水本管整備費	140125	簡易水道配水本管整備事業

事務事業名	簡易水道配水本管等整備事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 43 年度から 年度まで
-------	---------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 簡易水道配水本管布設及び給水工事(公道部)業務を実施する。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 配水本管及び給水装置の新設
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 水道水の安定供給及び未普及世帯への供給

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 昭和43年の上美生地区簡易水道事業の供用開始にあわせ、配水本管等の整備事業が始まり、その後、美生簡易水道、河北簡易水道が供用開始され現在に至っている。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 新たな給水工事への対応及び配水本管布設工事の実施

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地方債	円	1,600,000	
		その他(使用料等)	円	917,460	364,608
		一般財源	円	△ 411,460	△ 148,608
		事業費計 (A)	円	2,106,000	216,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.1196	0.0420
		人件費計 (B)	円	985,453	326,742
	トータルコスト(A)+(B)		円	3,091,453	542,742
活動指標	給水工事件数(公道部)		件		2
	配水管布設延長		m		
	配水管移設延長		m	12	79

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
簡易水道施設整備事業起債	円	1,600,000		
簡易水道事業負担金	円	490,244	364,608	245,000
道道改良工事関連移設補償費	円	427,216		510,000
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

1 給水工事の内訳

区分	件数	公道部 工事件数	公道部 工事費(円)	特定財源(歳入)
				事業負担金(円)
給水申請件数	8	2	216,000	364,608

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
1 簡易水道費	2 建設事業費	2 給水設備費	140126	簡易水道給水設備事業

事務事業名	簡易水道給水設備事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 43 年度から 年度まで
-------	------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)
計量法に基づき、メーターの更新取替及び新設用水道メーターの購入事業を実施する。

2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など)
水道メーター

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
正確な有収水量の計測

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景
水道メーターは、計量法対象計量器であることから、昭和43年の上美生簡易水道創設から町で購入し貸し付けしてきた。メーター器は設置後8年目を迎える年に更新取替事業を実施してきた。

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測
(どう変わったか、どうなるか)
計量法では、計量機器製造合格後8年を経過した計量器は、更新するよう定められている。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業 ☐ 統廃合・分割などによる変更 ☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	837,572	408,844	67,000
		一 般 財 源	円	683,521	5,856,992	2,949,000
		事業費計 (A)	円	1,521,093	6,265,836	3,016,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.1267	0.0792	
		人件費計 (B)	円	1,043,954	616,142	
トータルコスト(A)+(B)		円	2,565,047	6,881,978		
活 動 指 標		更新取替台数	台	48	205	88
		新設台数	台	2	3	3

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
量水器口径別負担金	円	798,120	287,280	66,000
検満量水器売払代金	円	39,452	121,564	1,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 検満量水器更新に要した費用

区分	量水器購入費		更新工事費(円)	合計(円)
	台数	金額(円)		
検満用	205	3,294,540	2,926,800	6,221,340

2 新設用量水器購入に要した費用

区分	量水器購入費		合計(円)
	台数	金額(円)	
新設用	3	44,496	44,496

3 特定財財源の内訳

		408,844円
(1)量水器口径別負担金	3件	287,280円
(2)検満量水器売払代金	560kg	121,564円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国庫支出金	起債	その他	一般財源	
工事請負費						
簡易水道検満量水器更新工事(1工区) (φ20mm～φ40mm 114台)	1,663,200					石崎設備工業(株) H29.4.28～H29.6.2
簡易水道検満量水器更新工事(2工区) (φ13mm～φ50mm 91台)	1,263,600					石崎設備工業(株) H29.9.25～H30.2.26
工事請負費合計	2,926,800					
備品購入費						
新設用量水器 (3台)	44,496					単価契約
φ20mm 1台	(14,040)					愛知時計電機(株) 鋼路営業所
φ25mm 2台	(30,456)					愛知時計電機(株) 鋼路営業所
検満用量水器 (205台)	3,294,540					単価契約
φ13mm 1台	(12,960)					アズビル金門(株) 鋼路営業所
φ20mm 28台	(393,120)					愛知時計電機(株) 鋼路営業所
φ25mm 168台	(2,558,304)					愛知時計電機(株) 鋼路営業所
φ40mm 7台	(265,356)					愛知時計電機(株) 鋼路営業所
φ50mm 1台	(64,800)					愛知時計電機(株) 鋼路営業所
備品購入費合計	3,339,036					
合 計	6,265,836			408,844	5,856,992	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
1 簡易水道費	2 建設事業費	3 施設整備費	140127	簡易水道施設整備事業

事務事業名	簡易水道施設整備事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 43 年度から 年度まで
-------	------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 簡易水道施設が整備されてから30年以上が経過し、各施設機器の劣化が著しいことから、年次計画により機器等の更新整備を実施する。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 簡易水道施設機器
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 簡易水道施設を正常に機能させる

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 簡易水道施設が設置されてから30年以上が経過しており、施設を安定的に機能させていくためには、計画的な機器更新を進める必要があるため、本事業を開始した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 簡易水道施設設置から30年以上が経過し、各施設における機器等の経年劣化が著しいことから、機器の更新が必要になってきている。河北簡易水道区域については、道営事業との合併施工にて水量増量・水質改善等の再整備を実施している。また上美生簡易水道においても漏水や機器故障の発生が増加傾向であるため、更新についての検討が必要である。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地方債	円	30,400,000	44,900,000
		その他(使用料等)	円		67,900,000
		一般財源	円	5,834,870	2,201,540
		事業費計(A)	円	36,234,870	47,101,540
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.2259	0.1302
		人件費計(B)	円	1,861,319	1,012,899
	トータルコスト(A)+(B)		円	38,096,189	48,114,439
活動指標	浄水場・配水池の数		箇所	10	10

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
簡易水道施設整備事業債	円	20,000,000	41,000,000	67,900,000
簡易水道施設整備事業起債-H27繰越	円	10,400,000		
簡易水道施設整備事業起債-H28繰越	円		3,900,000	
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 機器更新に要した費用

工事名	工事費(円)	財源内訳	一般財源
		起債	
美生浄水場逆洗ポンプ更新工事	5,076,000		
河北4号配水池テレメータ更新工事	6,264,000		
美生浄水場送水流量計更新工事	3,294,000		
合計	14,634,000	14,600,000	34,000

2 河北簡易水道再整備に要した費用

名 称	費用(円)	財源内訳		一般財源
		起債	起債 H28繰越	
河北地区営農用水事業負担金	28,202,560	26,400,000		1,802,560
河北地区営農用水事業負担金-H28繰越	4,225,080		3,900,000	325,080
合計	32,427,640	26,400,000	3,900,000	2,127,640

(水 道 課 水 道 工 務 係)

建設事業等の説明 (単位：円)						
事業（工事）名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国庫支出金	起債	その他	一般財源	
工事請負費						
美生浄水場逆洗ポンプ更新工事 (逆洗ポンプ更新 1台) (配管更新 1式)	5,076,000					(株)佳原製作所 北海道支社 H29.11.17～H30.3.16
河北4号配水池テレメータ更新工事 (テレメータ更新 1組) (無停電電源装置 1台)	6,264,000					北海道富士電機(株) H29.11.10～H30.3.19
美生浄水場送水流量計更新工事 (送水流量計更新 1台)	3,294,000					北海道富士電機(株) H29.12.1～H30.3.26
工事請負費合計	14,634,000		14,600,000		34,000	
合計	14,634,000		14,600,000		34,000	